

令和2(2020)年2月28日(金)に、一般国道408号真岡宇都宮バイパスの清南大地高架橋から一般国道123号との交差点までの延長2.6kmを4車線で供用開始します。

事業概要

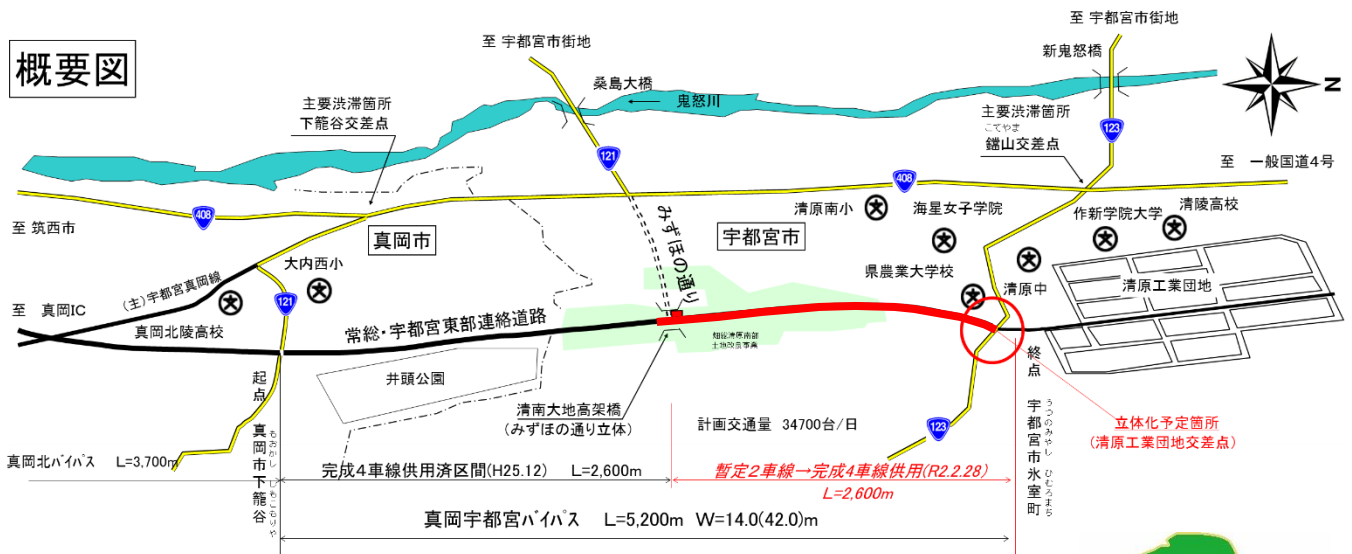
真岡宇都宮バイパスは、茨城県つくばみらい市(谷和原IC)から本県矢板市(矢板IC)に至る地域高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する延長5.2kmの幹線道路です。

この度、清南大地高架橋から一般国道123号まで(清原工業団地交差点取付け区間除く)の延長2.6kmについて、令和2年2月28日(金)に4車線で供用開始します。

これにより、清原工業団地から真岡ICや県道真岡上三川線までの延長約11kmが4車線で通行できるようになり、安全で円滑な通行の確保、物流の効率化、地域経済の発展及び地域間の交流・連携の促進に寄与するものと期待されます。

今後は、一般国道123号との交差点の立体化整備を進めていきます。

概要図



～真岡宇都宮バイパス事業概要～

- 路線名：一般国道408号
- 全体延長：L=5.2km
- 道路幅員：W=42m
(車道3.5m×4 副道5.0m×2)
- 事業期間：平成15年度～
令和6(2024)年度(予定)
- 事業費：約205億円

